

(1) 若年層の非正規雇用の増加

		1990年	2000年	2006年
全年齢 (15-24歳在學生を除く)	正規比率(%)	81.5	76.3	68.6
	非正規比率(%)	18.5	23.7	31.4
15-24歳 (在學生を除く)	正規比率(%)	90.6	76.8	67.0
	非正規比率(%)	9.4	23.2	33.0
25-34歳	正規比率(%)	88.4	84.2	74.9
	非正規比率(%)	11.6	15.8	25.1

(出所)「労働力調査」(特別調査)(詳細結果)¹

(3) 非正規雇用の年間所得 (15～24歳の在學者は除く)

(単位：千人、%)

	2002年		2007年		2002-07年
	人数	割合	人数	割合	
300万円以上	1,060	7.1	1,327	7.5	267
200-300万円	2,072	13.8	2,886	16.4	814
100-200万円	5,446	36.3	6,650	37.8	1,204
100万円未満	6,321	42.1	6,573	37.3	252
合計	15,007	100.0	17,610	100.0	2,603

(注) 所得が不明の者が含まれるため、各所得額の人数の合計は合計欄の数字と一致しない。

(出所) 総務省「就業構造基本調査」(2002年、2007年)

3

(2) 男女別の正規・非正規雇用

(1997年-2007年)

(単位：千人)								
	男子				女子			
	1997年	2002年	2007年	1997-2007	1997年	2002年	2007年	1997-2007
正規雇用	26,787	24,412	23,799	Δ2,988	11,755	10,145	10,526	Δ1,229
非正規雇用	3,370	4,832	5,936	2,566	9,235	11,448	13,002	3,767

(出所)「就業構造基本調査」(各年版)より作成。

97年から2007年までの10年間に男子正規雇用は約300万人減少

(4) フルタイム型非正規雇用の増加

(単位：万人、%)

	2002年		2007年		02-07年
非正規雇用	1451	(100.0)	1733	(100.0)	282
うちフルタイム非正規	438	(30.2)	545	(31.4)	107
うち年収200万円未満	236	(16.3)	272	(15.7)	55

(注)「フルタイム非正規」とは週40時間以上の非正規雇用を言う。在學者を含む。

(出所) 総務省「労働力調査(詳細結果)」(各年版)より作成。

非正規雇用の3割はフルタイムで働く

5年間で100万人の増

4

就業形態別、自分自身の収入で生活をまかなう労働者の割合 (5)
(%)

	2003年	2007年
正社員	77.0	84.9
正社員以外	42.8	45.4
契約社員	71.5	68.6
嘱託社員	83.9	85.9
出向社員	92.2	92.4
派遣労働者	59.5	70.5
臨時的雇用者	44.2	53.3
パートタイム労働者	29.6	28.6
その他	57.2	60.3

(注) 選択肢には自分自身のほか、配偶者、子供、親、兄弟姉妹、その他がある。

(出所) 『H21年版厚生労働白書』。原資料は厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」

5

雇用審議会第7号答申(1965年) (6)

- ・「不安定な雇用形態の改善」

「臨時雇用、社外工、季節出稼ぎ労働等の雇用形態については、広い範囲にわたって系統的にその実態を明らかにし、就業している場の企業の常用労働者と同種の労働に従事するものはできるだけ常用雇用形態化する等の改善をはかること」

6

(7)

雇用形態の変化(1997-2007年)

(単位:1000人、%)

	役員を除く雇用者		正規雇用		非正規雇用	
	数	%	数	%	数	%
1997年	51,147	100.0	38,542	75.4	12,590	24.6
2002年	50,838	100.0	34,557	68.0	16,205	31.9
2007年	53,263	100.0	34,324	64.4	18,900	35.5
1997-2002年	-309		-3,985		3,615	
2002-07年	2,425		-233		2,695	
1997-2007	2,116		-4,218		6,310	

(出所) 総務省「就業構造基本調査」各年版より作成。

7

(8) 年間所得別雇用者数(2002年、07年)

	(単位:1000人)				
	役員を除く雇用者				
	2002年		2007年		02-07年
総数	49,524	100.0	51,891	100.0	2,367
100万円未満	6,789	13.7	7,185	13.8	396
200万円未満計	15,197	30.7	16,768	32.3	1,571
250万円未満計	20,217	40.8	22,445	43.3	2,228
300万円未満計	24,354	49.2	26,906	51.9	2,552

(注) 「15-24歳の在学者数」を除く。「15-24歳の在学者数」を算出する際に、原資料(「就業構造基本調査」第38表)からは「役員を除く雇用者数」が得られないため、「(役員を含む)雇用者」を用いた。しかし、この年齢層には役員はごくわずかと考えられるため、大きな影響はないと考えられる。

(出所) 総務省「就業構造基本調査」(2002年、07年)より作成。

8

(9) 非正規雇用の内部構成

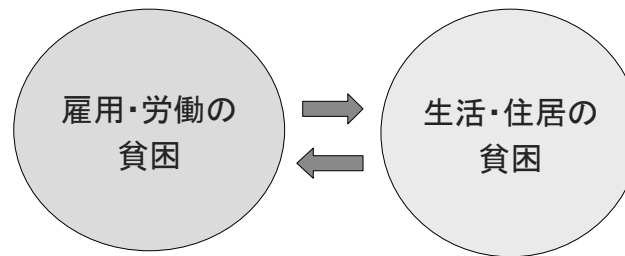
(単位：千人)

	1997年		2002年		2007年	
	数	割合	数	割合	数	割合
役員を除く雇用者	51,147		50,838		53,263	
正規雇用	38,542		34,557		34,324	
非正規雇用	12,590	100.0	16,205	100.0	18,900	100.0
パートタイマー	6,998	55.6	7,824	48.3	8,855	46.9
アルバイト	3,344	26.6	4,237	26.1	4,080	21.6
労働者派遣事業所の派遣社員	257	2.0	721	4.4	1,608	8.5
契約社員					2,255	11.9
嘱託	1,991	15.8	2,477	15.3	1,059	5.6
その他			946	5.8	1,043	5.5

(出所) 総務省「就業構造基本調査」(各年版)より作成。

9

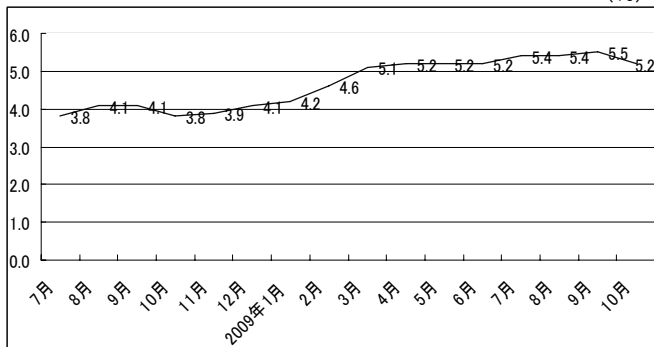
(10)



10

(11) 完全失業率の推移

(%)



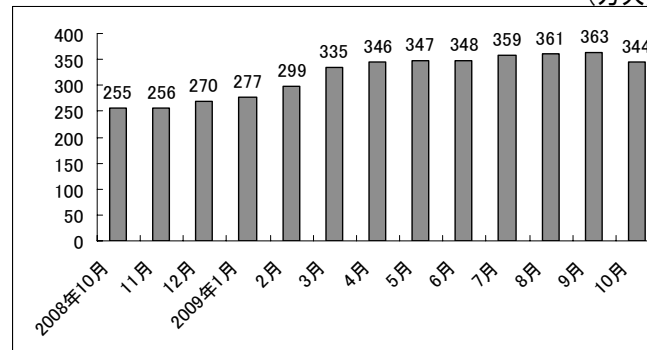
(出所)「労働力調査」

11

(12) 完全失業者の推移

1年間で100万人増加

(万人)



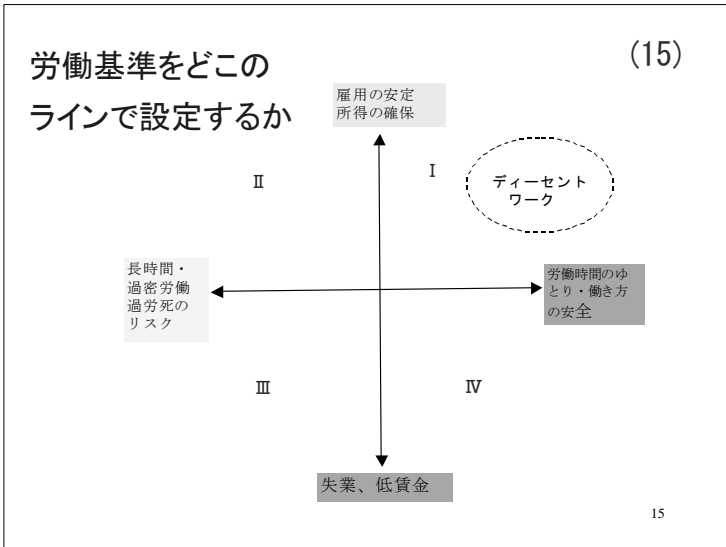
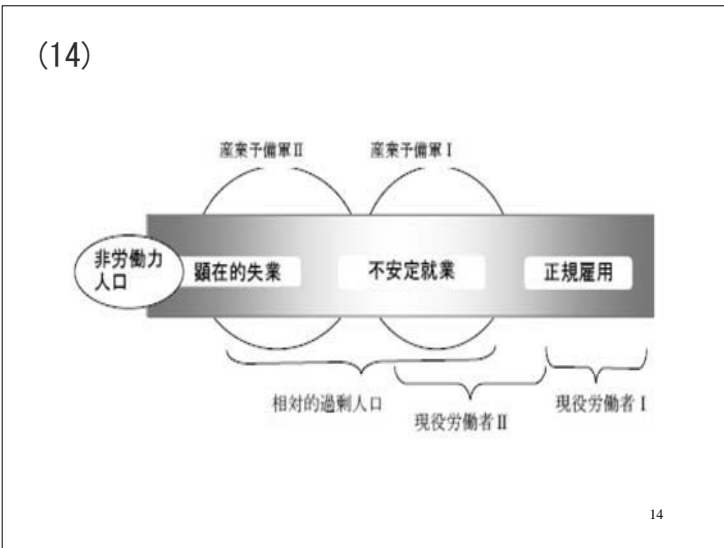
(出所)「労働力調査」

12

「派遣切り」「非正規雇用切り」 (13)

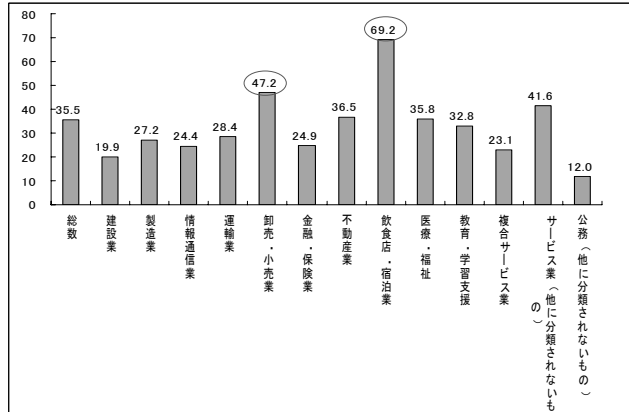
	2008年		2009年	
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
非正規雇用 総数	1779	1796	1699	1685
パート・アルバイト	1157	1153	1132	1128
労働者派遣事業所の派遣社員	140	146	116	105
契約社員・嘱託	321	340	318	318
その他	161	157	133	134

(出所) 「労働力調査」 (詳細集計) 13



- (16) 「労働基準」の設定
- 労働時間、労働形態（交代制、深夜勤務など）の基準
 - 雇用形態の基準
 - 最低賃金の水準
- 就業領域の範囲が左右される
- 16

(17) 非正規雇用比率(産業別)



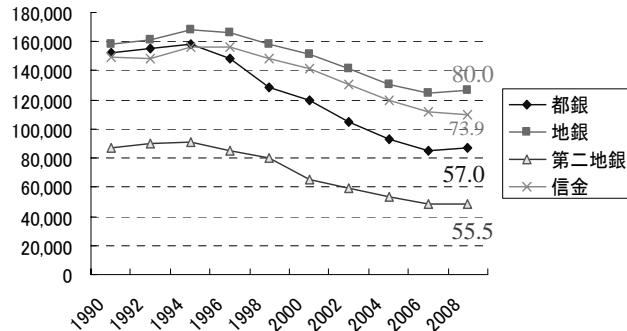
(出所)「就業構造基本調査」(2007年)

(18) 産業別に見た正規雇用と非正規雇用

	飲食店・宿泊業	卸売・小売業	製造業	金融保険業	医療・福祉	情報通信業
会社などの役員を除く雇用者	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
正規の職員・従業員	30.8	52.8	72.8	75.1	64.1	75.6
非正規雇用	69.2	47.2	27.2	24.9	35.8	24.4
パート	46.6	57.4	49.2	39.8	65.1	22.7
アルバイト	45.7	26.7	8.9	3.5	7.9	17.1
派遣事業所の派遣社員	1.3	3.3	20.9	26.7	4.0	19.0
契約社員	3.8	8.3	12.9	16.8	9.9	32.5
嘱託	0.9	2.2	4.9	11.6	7.8	4.8
その他	1.7	2.0	3.1	1.7	5.3	3.8

(出所)「就業構造基本調査」(2007年)

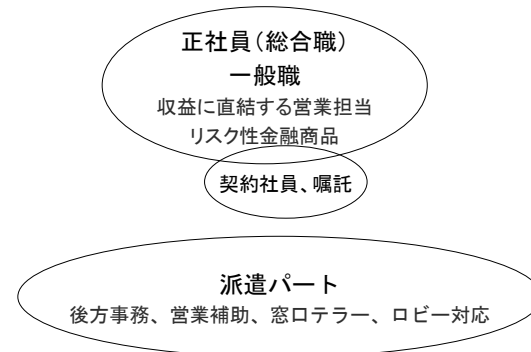
(19) 金融機関の正規職員の推移



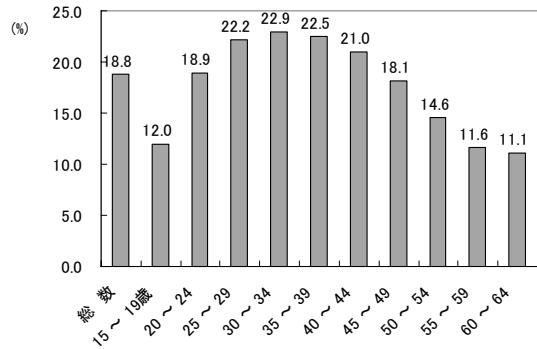
(注)右端の数值は1990年の職員数を100とした2008年の指数

(出所)田中均「金融機関における雇用の重層化・不安定化の実態」『金融労働調査時報』2008年10月号(原資料は「全国銀行財務諸表分析」、「全国信用金庫財務諸表分析」)

(20) 銀行店舗の正規雇用と非正規雇用



男性・正規雇用 週60時間以上雇用者の比率 (2007年)



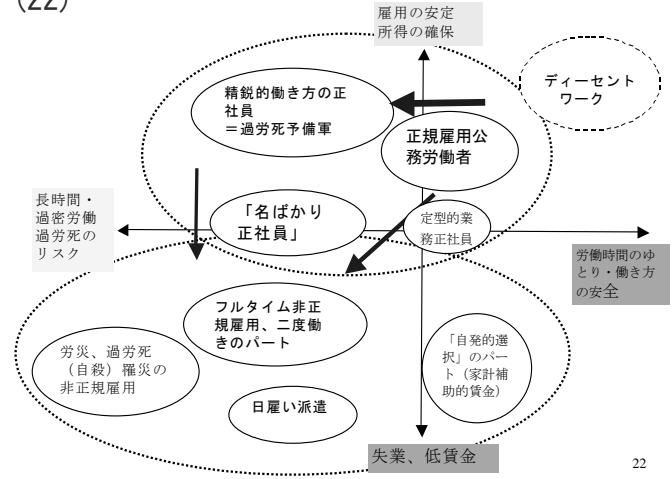
(注)年間就業日数200日以上

(出所)「就業構造基本調査」(2007年)

(21)

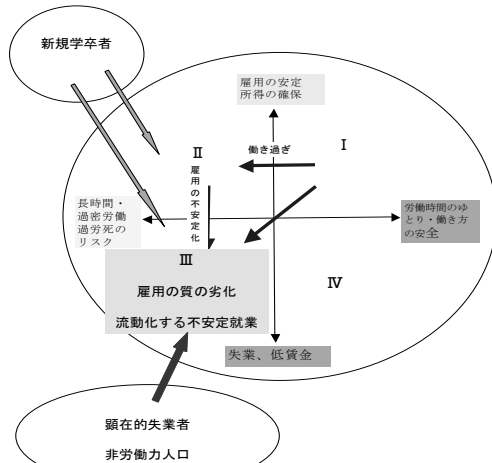
21

(22)



22

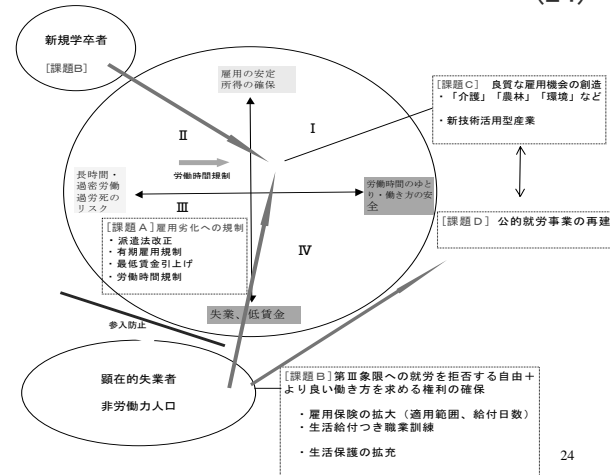
雇用と働き方の劣化、不安定化



(23)

23

対抗の構図



(24)

24